

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026年5月1日

事業所名：放課後等デイサービス 児童発達支援・放課後等デイサービス Lucia

対象人数(保護者)30人 回答者数 23人 回収 76.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	1		国の基準は満たしています。グループに分かれて活動を行うことで、スペースを有効活用しています。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		1	国の基準を満たした職員配置になっております。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1			バリアフリーを必要とする児童は現在いません。視覚支援を取り入れて児童が困る事のないような空間を心がけています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		1	毎日児童退室後に清掃や必要に応じて消毒、清掃を行っています。また活動に合わせて環境を設定を行っています。
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2			職員の専門性向上に継続的に取り組み、安心してご利用いただける支援体制の強化に努めてまいります。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		1	支援プログラムを基本とし、お子さま一人ひとりにあった支援内容を提供するよう努めています。
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	22	1			6か月に1回モニタリングや当事業所のアセスメントシートを使用し保護者との面談を行った上で個別支援計画を作成しております。
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1			ホームページに支援プログラムを掲載しています。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1			個別の目標に沿って日頃から支援を行っています。
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		1	活動の内容をアレンジしたり、様々なプログラムを立てています。必要に応じて、同内容で段階をつけて行う等して工夫をして行っております。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	7	2	9	現在、児童クラブ等との交流は難しいが、フロア解放の時間に地域の他の子どもと交流できる時間を設けています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23				
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23				
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		1	講演会や勉強会があればチラシを配布して保護者の方に情報を提供できるように努めています。
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1			保護者面談を行う他、フロア解放時間に職員が保護者の方に日々の様子や課題等を伝えています。
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1			6か月に一度、またその子に応じて定期的に行っています。
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1			一人ひとりの発達に合った内容を話し合う会議をし職員全員で支援を行えるよう努めています。
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21			2	療育終了後は曜日を決めて、フロアを解放して保護者やきょうだい同士が交流する機会を設けています。また、保護者会も年に2回設けています。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1	迅速に対応できるよう、随時面談等を受け付けています。
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22		1		お迎え時や療育後のフロア解放時間でお話ししたり、療育管理システムHUGを活用して情報等をお知らせしています。
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23				
非常時等の対応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1			鍵付きの書庫で保管しています。また取り扱い時には十分に留意しています。
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		3	マニュアルが作成されており、それに基づいて職員研修や避難訓練を行っています。年間計画に基づいて定期的実施しています。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			3	児童と職員で年に2回避難訓練を実施しています。年間計画に沿って行っています。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2		1	マニュアルが作成されており、それに基づいて職員研修や机上訓練を行っています。年間計画に沿って行っています。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		1	体調の変化やケガ等があった場合には速やかに状況等を伝えるよう努めています。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	23				
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	4			子どもたちが楽しく通所できるよう療育内容を職員全員で考案しています。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	21	2			原則として予定時間内に終了できるよう取り組んでまいります。今後も皆様に安心してご利用いただける事業所を目指し努めてまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかのわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。